

論文タイトル

○著者 1 †, 著者 2 ‡

○ Author1 † and Author2 ‡

† : 所属 1, aaa@xxx.yyy.zzz

‡ : 所属 2, bbb@xxx.yyy.zzz

<要約> 概要の記述…: L^AT_EX 2_ε のテンプレートです. OSX+TeXLive 2016 の環境で作成しています. 動作確認は Debian GNU/Linux + TeXLive 2016, Windows8.1 + TeXLive2016 上で行い, 一応動作しているようです.

<キーワード> キーワード 1, キーワード 2, …

1 はじめに

このファイルは L^AT_EX 2_ε を使用して要旨を作成するための雛形です. dia2017.sty を使用してください.

ソースファイルの漢字コードは utf-8 で作成してあります. 各人の環境に合わせてこのファイルと, dia2017.sty の漢字コードを変更してください.

1.1 箇条書きの書き方

ナンバー付きの箇条書き

i 箇条書き

ii 箇条書き

箇条書き

● 箇条書き

● 箇条書き

2 文献の参照

文献 [1] の参照例です.

2.1 紙面のサイズについて

A4 版の用紙サイズは幅 210mm, 高さ 297mm です. 余白は以下のように設定してあります.

● 上下の余白: 30mm

● 左右の余白: 20mm

表 1 表の例

列 1	列 2
名 称	文 字
記 号	記 号
○ ○	△ △

としてあります. 変更したい場合には dia2017.sty 内の 1 行目の geometry パッケージのオプションの値を変更してください.

二段組みの末尾がそろうようにしてあります. 二段組みの末尾の調整を行わない場合は dia2017.sty 内 nidanfloat パッケージのオプションを [balance] から [nobalance] に変更してください.

3 表について

表 1 の例です. 表の行の高さがデフォルトでは少し狭いので `\renewcommand{\arraystretch}{1.5}` と `\renewcommand{\arraystretch}{1.0}` 命令で 1.5 倍に調整してあります. 適宜変更してください. caption と表までの空白が広がる傾向にあるので, -5mm 調整してあります. こちらも適宜変更してください.

4 図について

図 1 にグラフ例を示します。 ああああああ
ああああああああああああああああああ
ああああああああああああああああああ
ああああああああああああああああああ
ああああああああああああああああああ
ああああああああああああああああああ

参考文献

[1] 著者: 文献タイトル , 出版社,pp.1-5(発行年)

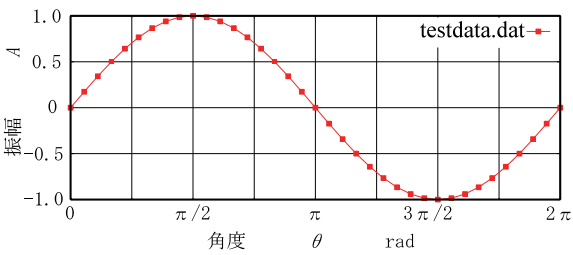


図 1 グラフ